

中原台の風

令和元年度 第10号(通算302号)
—佐西学校だより—
令和2年1月31日発行
〔発行責任者〕
長崎県立佐世保西高等学校長 宅島健司

目的

校長 宅島 健司

現在校長室の掃除担当は2年1組です。月1回担当班が変わります。先日「今日は隅々まできれいにすることを意識して掃除して」と指示を出しました。掃除終了後、「ただ掃除しなさい、と言うのと隅々まできれいにと言うのでは、どちらの方が結果きれいになる？」と尋ねました。ある生徒がすぐに「後者です。」答えました。「学習でも部活動の技術でも何かを習得しようとする時には、具体的に目的を意識することが大事です。全てのものごとに通じることだと思います」と話しました。

君たちには日々、あるいは週末、授業担当の先生方から課題が出されます。恐らく課題を済ませることを第一に考えて問題を解いているのだらうと思います。しかし、それでは課題を終わらせること、提出することが目的になってしまうこととなります。なぜ課題を出すかという、学習内容を授業だけで君たちに学力として定着させることは難しいからです。例えば、数学では、2次関数を授業で取り扱う場合、定義の説明や2次関数のグラフの理解及びその種類や考え方の説明に加えて、例題による問題演習や、例題の考え方の説明等を行いながらの方が、その分野の理解につながります。その後、最大値・最小値の内容に進んでいくのだらうと思います。ここで取り扱う例題の数は限られます。時間的制約があるからです。理系に進む人は数Ⅲまで学びますから、文理共通に学ぶ数ⅡBまでを2年の12月を目途に進度を確保する必要があります。そうしないと大学入試センター試験(大学入学共通テスト)の問題演習や個別大学の入試問題演習の時間を確保することができません。ですから、1年生から2年生まで進度に応じた基礎事項の定着はその時点でマスターすることが必須であり、待ったなしなのです。数学を例にとりましたが、例題等の基礎問題や基礎事項の定着は他教科でも同じです。

話を元に戻しますが、課題をするときに、ただこなせばいいという考えで行ってほしくないということです。今行っている学習の目的をはっきりさせて、それを理解し、定着させるのだという意識をもって臨んでもらいたいと思います。ただ演習するのと目的意識を持つのでは時間的には差はありません。しかし、頭の中の整理や定着度合いには雲泥の差が生まれます。

部活動の練習も然りです。体力トレーニングや日々行う基礎練習は同じメニューが多いはずですが、ただその動作を繰り返すのと、自分が足りない点を意識して・チームの課題を意識して、例えば昨日よりスピードアップを意識して行うのでは大きな差が生まれます。その練習に具体的な目的があるかないかで、成果は大きく違います。レベルアップしていくためには、その技能スキルに止まることなく、意識してレベルアップする工夫が必要です。その第一歩が具体的な目的の意識化です。

ある人がこう言っています。

「『頭がいい』という状態というのは、『目的意識がしっかりしている状態』のことではないかと思います。記憶力とか思考力とか判断力とか、そういう能力以前の問題で、『自分が何をすべきなのか』をはっきりさせることができる人というのは、結果を出し、目的を達成できるのではないかと思います。」

今日から「よし、じゃあこの目的を達成するため頑張ろう！」と考える西高生になることを切に願っています。



センター試験に出発する3年生を激励する下級生

母の会支援活動 (教務：宮地和則)

大学入試センター試験まであとわずかとなった12月20日(金)、母の会の皆さんにより、3年生と先生方に「チキンカツカレー」が振る舞われました。「きちんと勝つ」と祈りを込め、ボリュームたっぷりのカレーライス時間をかけて作っていただきました。

寒い中でのあたたかいカレーライスは、心もあたたまり、生徒たちの「さあやるぞ!」という、大学入試センター試験に向け力強く立ち向かう心意気に変えてくれました。

母の会の皆さん、準備から後片付けまで本当にありがとうございました。

《2月の行事予定》

- | | | |
|----|-----|----------------------|
| 1 | (土) | 小論文セミナー(3年) |
| 2 | (日) | ハイレベル模試(1年) |
| 5 | (水) | 推薦入学者選抜 |
| 8 | (土) | 進研マーク(2年)、特別講座(3年) |
| 9 | (日) | 進研マーク(2年)、 |
| 13 | (木) | 後期期末考査時間割発表 |
| 15 | (土) | 特別講座(3年) |
| 20 | (土) | 後期期末考査(1・2年 ~2/26) |
| 22 | (土) | 特別講座(3年) |
| 23 | (日) | 第3回英検二次 |
| 25 | (火) | 国公立大学二次試験(前期)(~2/6日) |
| 29 | (土) | 同窓会入会式、卒業式予行 |



チキンカツカレーを食べる生徒

百人一首大会 (1学年主任：戸塚邦彦)

本校恒例の「新春百人一首大会」が1月9日(木)に開催されました。昨年に引き続き今年度も生徒が一から企画と運営を行いました。自ら買って出た実行委員と各クラスの国語係がみんなで協力しながら、放課後遅くまで残ったり昼休みを使ってランチミーティングをしたりしながら、生徒たちが楽しめるような企画を話し合いました。また、優勝を目指して、それぞれのクラスの国語係がプリント作成など百人一首を覚えるための工夫にも取り組んでいました。



当日は、準備していた札が「消失？」するというアクシデントや、全体への指示がうまく伝わらないなど、気を揉むような場面もありましたが、



みんなが楽しめる大会になったようです。詠み手の先生方の個性ある詠先生方による英訳の読み上げが行われる中、ため息や歓声が体育館に響き渡っていました。日本の伝統文化として、そして本校の恒例行事として56回生も試行錯誤をしながら楽しく引き継いでくれました。企画・運営に携わってくれた生徒の皆さんに感謝します。

<結果> 優勝 4組 準優勝 3組 3位 6組

部活動の結果報告

<書道部> ○令和元年度長崎県高等学校総合文化祭書道展 (令和元年12月22日)

特選 2-2 平野 友梨、 春田 里桜、 2-3 佐多 友香
2-4 山田 歩生、山口 喜美佳、 2-6 野村 萌花

<写真部> ○令和元年度長崎県高等学校総合文化祭第15回写真展 (令和元年12月22日)

優秀賞 1-2 増田 ふぶき、 馬込 明花
優良賞 2-3 廣川 京香 高等学校の部 優秀賞 2-1 吉浦 麗奈

ベトナム研修旅行報告 (2学年主任：三好啓介)

今年で4年目となるベトナム研修旅行が12月16日(月)から12月20日(金)までの3泊5日(機内1泊)の日程で実施されました。今回は福岡ーベトナムのホーチミン間の移動のみ、A班、B班の2班に分かれていましたが、基本的には学年全体が同じ日程で行動することができ、学年全体のまとまりを実感できた研修旅行となりました。今回の研修旅行で最も楽しみにしていたのが現地高校生との交流会です。今年も、ルンテービン高校との交流でしたが、開会セレモニーでは現地の民族衣装に身を包んだ生徒さんたちの舞踊が披露され、熱烈な歓迎を受けました。本校も英語による佐世保西高校の紹介やふるさと創生大作戦のプレゼンテーション、学年全生徒による大合唱で会場が大いに盛り上がりました。

その後はグループ交流でそれぞれのグループが学校散策やスポーツなどを行い、あっという間に終了時間が来てしまいました。

この交流会が今回の研修旅行の中で生徒たちにとって最も印象に残るものになりました。また、日系企業訪問や平和学習にも取り組みました。日系企業訪問は5つの企業(日清製粉、花王、Vitalify Asia、ロンドウイク工業団地)に各クラス分かれての研修となり、経済成長著しいベトナムの中で勢いのある日系企業の現状を肌で感じることができました。平和学習では、クチでの戦争遺構や戦争証跡博物館の展示物を通して戦争の愚かさや悲惨さを痛烈に感じるとともに平和の尊さを再認識することができました。この研修で得たことを、これからの学校生活や進路選択の中で必ず生かしてくれるものと期待しています。最後になりましたが、保護者の皆様には、高額な費用にも関わらず、お子様の参加にご理解をいただき誠にありがとうございました。

～生徒の感想より～

□今回初めて海外に行くということで、とても楽しみで日本とは全く違う文化や街並みなどすべてが新鮮で貴重な経験になりました。

□交流会では、現地の高校生の英語力に驚かされました。たくさん喋ってくれたのに、聞き取れなかったりして申し訳なかったのですが、積極的にコミュニケーションをとろうとしたので、良かったです。

□一番印象に残っているのは戦争証跡博物館に行ったことです。長崎の原爆資料館とは全然違う角度から戦争の悲惨さや危険さを改めて感じることができました。目を失った人や体がおかしくなってしまった人がその場にいたことが本当に怖かったです。今までは軽い気持ちで戦争はやらないほうがいいと言っていたけど、あれを見るともうそんな軽い話で済まされるようなことではないと考えさせられました。もう二度と戦争はしてはいけないと強く思いました。

□ビテクスコタワーから見る夜景は感動の嵐で本当にすごかったです。

□ドンコイ通りでは、人や物が多く、とてもにぎやかでその場にいるだけで楽しいと感じました。初めての値段交渉も行い、多くの買い物もでき、有意義な時間を過ごすことができました。

